

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)瓢箪山センター新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府東大阪市瓢箪山町	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年6月14日
敷地面積	2,377 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社流通
建築面積	1,282 m ²	確認日	2019年6月17日
延床面積	2,098 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社流通一級建築士事務所杉崎 文昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>エントランス部分に植栽のある広場を設け、建物利用者の憩いの場となるようにベンチを設けている。物販店舗の売場の天井は高く、利用者に開放感を与える空間になっている。又、多数の人が使用・利用する部分の内装材には、防汚性の高い建材を使用し、維持管理に配慮した設計となっている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>トップライトが設けられている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>売場においては高い天井、防汚性の高い内装材の使用など、維持管理に配慮した設計となっている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>植栽やベンチ等を設け人が集まる広場を設けている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明の採用。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型便器+節水コマの採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率=95%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0051

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)瓢箪山センター新築工事							
	建設地	大阪府東大阪市瓢箪山町							
	用途/区分	物販店 病院							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			5					
④	エネルギー削減			2					
⑤	自然エネルギー直接利用			—					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.3	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		